

## 音でコミュニケーション 音楽のつどい～音楽療法を体験～

(社福)岩手ひだまり会主催の「音楽のつどい」は1日、放課後等デイサービスひだまり北上中央で行われました。同施設は、障がいのある小学生から高校生の放課後の受け入れや、家族の生活・支援に関する相談を行っています。当日は音楽療法士の松本圭子さん(盛岡市)を講師に迎え、一緒に楽器に触れるなど音楽療法を体験。松本さんは「音楽療法は、リラックスや集中力を高める効果のほか、楽器を通してコミュニケーション能力を育てることができます」と話していました。

さまざまな楽器を使いながら、一緒に楽器を演奏する松本先生と児童



昭和30年〜40年代の懐かしい放送に耳を傾け、写真に見入る来場者

## 昔懐かし有線放送を公開 更木地区文化祭

更木地区文化祭は10月17日・18日の両日、更木地区交流センターで開催され、今年は特別企画として、「懐かしの有線放送コーナー」が設置されました。

昭和31年12月、電話やラジオが少なかった同地区に通信網として開設された「更木有線放送電話協会」。24年間続いた当時の放送をテープで流し、当時の写真や有線放送電話機を展示しました。藤島美也子さん(更木町)は「有線が懐かしく小学校の旧校舎や行事などいろいろ思い出しました」と懐かしんでいました。

## 戦後70年を迎え振り返る 27年度収蔵資料展「北上と戦争」

27年度収蔵資料展「北上と戦争」は10月27日から11月1日の間、中央図書館で開催されました。

太平洋戦争終結から70年目という節目を迎え、戦争の記憶も薄れてきている現在、戦争を振り返ることを目的に開催。図書館で保管している本や新聞、雑誌や個人出版の体験記など、北上の戦争に関する資料を展示しました。展示資料を見た鈴木キサ子さん(藤沢)は「飛行場の近くに住んでいた。当時を思い出します」と話していました。

図書館に収蔵されている本や新聞、写真などが展示されました



ナース姿のゾンビに扮し、勢いのあるすこっぷ三味線を披露する阿部さん

## キレあるリズムに心躍る 第2回すこっぷ三味線岩手県大会

第2回すこっぷ三味線岩手県大会は10月25日、夏油温泉スキー場で開催されました。

自前のスコップとバチを持ち音楽に合わせて音を鳴らすユニークな大会に、個人の部に15人、団体の部に10団体が出場。キレのあるリズムに大勢の観客が大きな拍手や歓声を送りました。同大会は12月に行われる世界大会の予選も兼ねています。個人の部で優勝した阿部理恵さん(奥州市)は「優勝すると思っていたのでうれしいです」と喜びを語っていました。

## 宝くじで地域に元気を！

### 横川目1区「秋まつり」に活用

横川目1区自治会(小田嶋善道会長)は宝くじの助成を受けて、「秋まつり」で使用することも神輿を整備しました。同まつりは平成19年に自治会や児童・保護者らが約30年ぶりに復活させ、今では地域に欠かすことができない恒例の行事。今まで神輿は酒樽を使って間に合わせて作っていましたが、地域の大勢の人が参加する祭りにしようとして今回整備しました。9月27日に行われたまつりでは、新たに整備された神輿をかつぐ子どもたちの元気な掛け声が響き渡りました。

神輿をかつぐ児童たち、声高らかに祭りを盛り上げる



人力車に乗り、みちのく民俗村に到着した花嫁の理恵さんと花婿の大介さん

## 民俗村で花嫁道中を再現

### みちのく民俗村まつり

みちのく民俗村まつりは10月17日、同民俗村で行われました。メインイベントは、昭和初期に立花地区で行われていた結婚式の様子を再現した「昔なつかし花嫁道中」。花婿と花嫁は気仙沼人力車木遣會による人力車で到着後、茅葺民家が立ち並ぶみちのく民俗村を練り歩き、大勢の観客から祝福を受けていました。

花婿花嫁役は、東京在住の千田大介さん(北上市出身)と理恵さん。二人は「みんなに祝ってもらって嬉しい。明るい家庭を築きたい」と笑顔で話しました。

## 災害時一目でわかる工夫

### 鬼柳町防災訓練

鬼柳町防災訓練は8日、同町内で行われました。

同町は7月に、災害の避難時に使用する「家族全員無事です」と印字したタペストリーを作製。実際の災害時には、各家庭の安否確認の時間短縮が図られます。今回の訓練では、初めてタペストリーを使用。各区の防災組織が各家庭を確認後、各区長から同町災害対策本部へ無線で報告する段階までの訓練を行いました。同本部長の高橋富士夫さんは「今後も訓練を継続し防災に対する意識を高めていきたい」と話していました。

震度6弱の地震を想定し、タペストリーを使用した訓練が行われました



沖縄県の郷土料理に笑顔あふれる黒沢尻東小学校の児童たち

## 給食でいわて国体を応援

### いわて国体応援メニュー

北上・西和賀町の給食センターは10月1日からの1カ月間、公立幼稚園と小・中学校を対象にいわて国体応援メニューを提供しました。全国各地の郷土料理や食材を給食に取り入れることで、児童たちの「国体を観たい・参加したい・応援したい心」を高めることが目的。最終日の黒沢尻東小学校の給食には、沖縄県の郷土料理「にんじんしりしり」と「沖縄風とん汁」が出され、2年生の焼田怜央くんは「にんじんが甘くておいしい」と笑顔で頬張っていました。